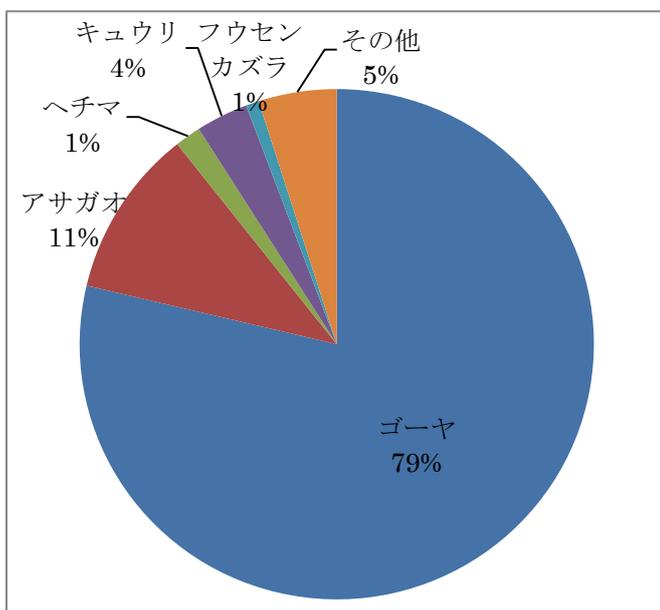


みんなで作った緑のカーテン

今年も緑のカーテンを育てられた方に、観察記録の提出をお願いしたところ、171名の提出がありました。
その内容を、ご紹介します。

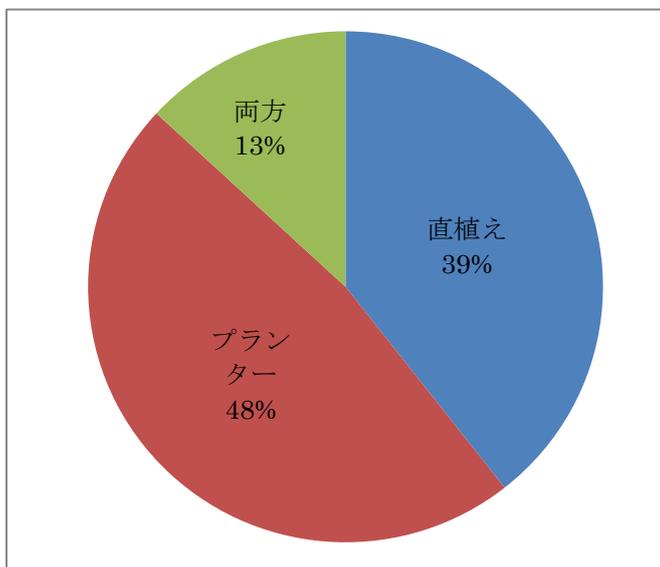
1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？



ゴーヤは「花が可愛い」し、「実がなる」から楽しみがあるということで人気です。病気になりにくいということも育てやすい要因ですね。

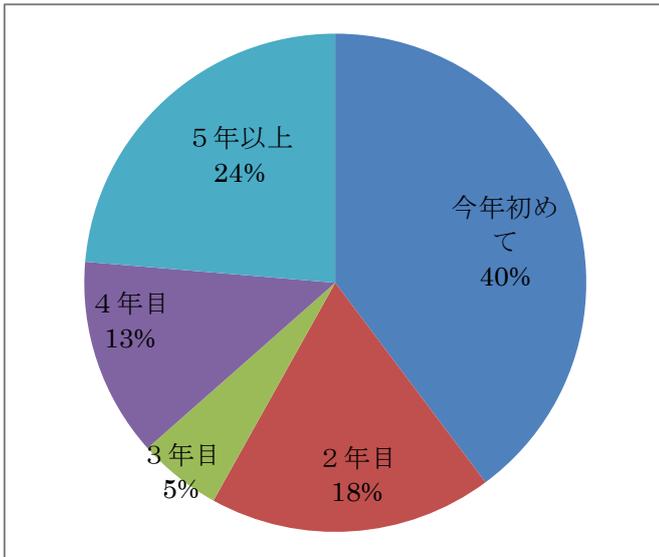
また、ゴーヤと一緒に朝顔を育てることで、「見た目が鮮やか」になったという声もありました。

2. どこに植えましたか？



マンションで緑のカーテンに取り組む方が増え、プランターを利用される方の割合が増えてきました。プランターでは水やりや肥料など気を使うことも多いのですが、みなさん上手に育てられたようですね。

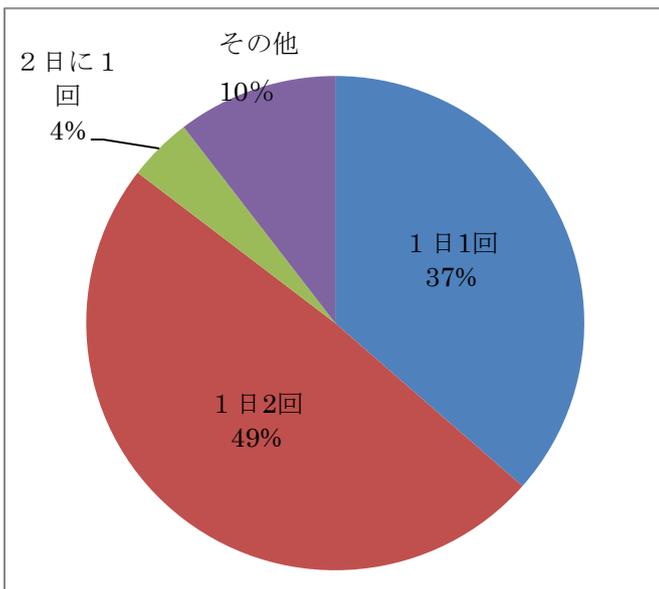
3. いつから始めましたか？



(注)「モデル地区」とは町会単位で温暖化対策全般に取り組んでいただく活動で、今年では2つの地区が参加されました。

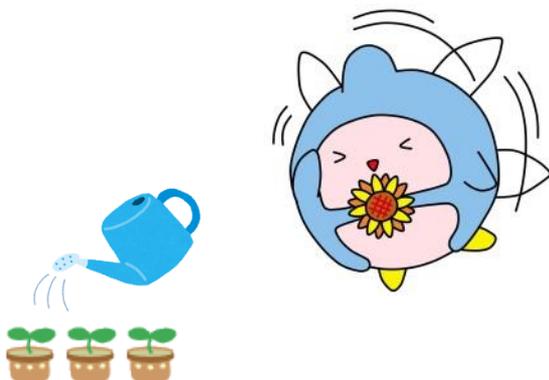
モデル地区の方に、初めて緑のカーテンに挑戦したという方が多数ありました。長年取り組んでいるベテランの方も多いと思うのですが、あまり観察記録を提出していただけないようで残念です。来年はぜひ声をお聞かせください！

4. 水やりについて

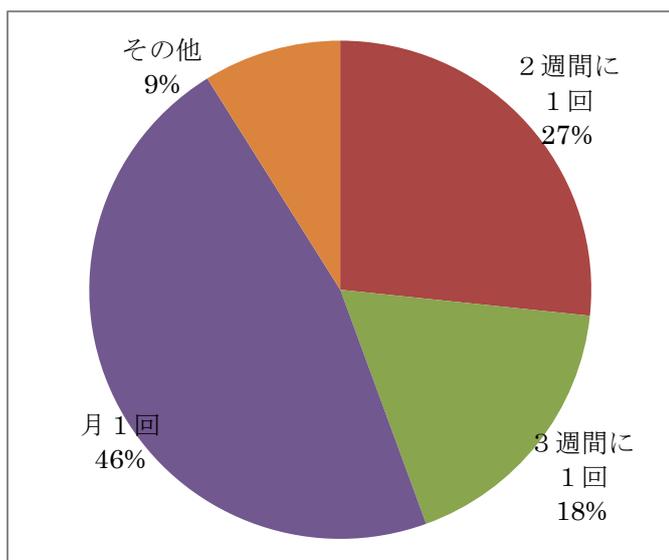


1日2回朝夕という方が半数で、暑い夏場は3回という方もみられました。しかし「水やりは重労働」と感じられる方も多く、緑のカーテンを育てるうえで重要ポイントの1つかもしれませんね。

「自動給水機を自作する」という方もいらっしゃいました。他にもなにか良い方法があれば教えてください!!



5. 追肥の頻度は？



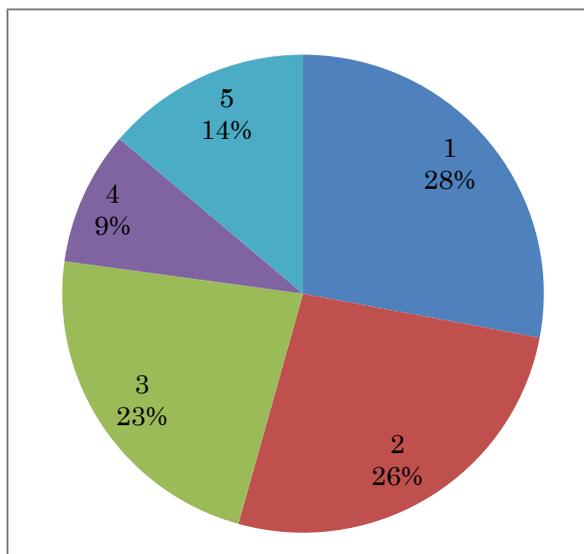
追肥に利用した肥料については、化成肥料やゴーヤ専用の市販肥料の商品名を挙げた方がいらっしゃいましたが、「手作りの肥料で」という声もありました。「秋冬の間にコンポストのゴミをたっぷり土に入れておくのがコツ」だとか。「大きくならず、追肥の必要を感じた」という声があり、やはり「水やりをした」だけでは足りないようです。

6. 緑のカーテンを作る上での工夫は？

ゴーヤの育成経験者ならご存知のことですが、初めての方には「摘心する(芽を摘む)」ということが難しいようです。ゴーヤは摘心することによって子づるが伸び、その小づるを摘心することによって孫づるが広がります。苗を植え、親づるの葉が5枚以上になったら摘心して子づるを伸ばしましょう。その時、子づるを誘導することも大切です。始めのうちは横にのばし、十分に幅を確保しましょう。そうすることによって、カーテンの下部が空いてしまうことを防ぐことができ、見た目にも、収穫の上でも有効になります。



7. 緑のカーテンの効果



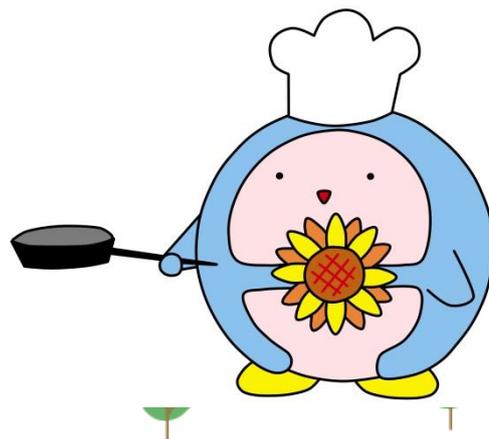
1. 「緑のカーテン」により、涼しくなった。または涼しく感じた。
2. 緑や花、葉の揺れる音、木漏れ日などに心が癒された。
3. 家族や近所の方とのコミュニケーションが増えた。
4. 冷房温度の設定を変更した。または冷房使用時間が減った。
5. 「緑のカーテン」以外の省エネ活動に関心を持つようになった。または実践した。

複数回答可でのアンケートで答えていただきました。みなさん「涼しい」または「涼しく感じた」ということで、日光を遮断し、視覚・聴覚・人によっては嗅覚も緑のカーテンで癒されたようです。

その他の意見としては、

- ・ 顔見知りの方ばかりではなく、道を歩く人に「緑のカーテンが素晴らしい。作り方を教えてほしい」と声をかけられた。
- ・ ゴーヤ料理のレパートリーが増えた。
- ・ ゴーヤの佃煮を作ってご近所に配った。
- ・ 義父が植え、夫・長女が水やり、私と次女が料理。三世代協力体制が自慢。

という方もいらっしゃいました。



8. 今年の感想から

今年も暑い夏でした。「水やりが大変だった」という声が一番多く聞かれます。しかしこの夏、船橋市を直撃するような台風はなかったため一昨年のような被害もなく、その点は良かったと思います。

緑のカーテンもベテランになると、朝顔・ひょうたんはもちろん、ルコウソウやパッションフルーツ、ブドウ等々、いろいろなつる性植物一緒に育てる方が増えてきました。楽しみ方もいろいろですね。

さらに今年の感想の中で、「菊の花の日除けになった」「クーラーの室外機が熱くならず、よかった」「犬小屋が日陰になった」など、人間以外でも役に立ったという話がありました。反面「2階のベランダの手すりを取られて布団干しを我慢の2か月」という声も。共感している方も多いのではないのでしょうか？



9. どれくらいの大きさの緑のカーテンができたの？

個人の部で、平均の幅は、3.3m、高さは3.5m。

事業所・公共施設の部では、平均の幅は、6.4m、高さは4.2mでした。

複数個所に育てた方や、1枚で広いカーテンでは個人の方で78m²、事業所・公共施設の部では600m²の面積になった方もいました。

なかには大きく（重く）なりすぎて、「網が切れてしまった」という方も。大きなカーテンは風の影響も受けやすくなりますので、十分注意が必要です。



10. お気に入りのカーテンは？

外から見た緑のカーテンの様子と違って、室内から見る緑のカーテンは優しい表情をしています。

今回送っていただいたお気に入りの一枚の写真は、室内から映したものが多数ありました。またその室内から「濡れ縁の金魚鉢を眺める風情が好き」という声や、愛猫がまどろんでいる写真を送ってくださった方がいらっしゃいました。

そして、今年目立ったのは、「窓（壁）から少し間をあけて緑のカーテンを設置したため、緑のトンネルができて風の通り道ができた」「ベラ



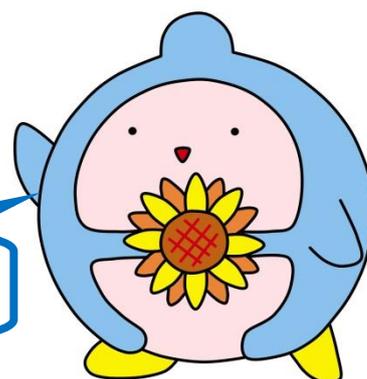
ンダに竿を立て網を張り、緑のトンネルを作った」というもの。緑のカーテンに覆われたドームのような空間でくつろいでいる写真も頂きました。

もちろん、ゴーヤ以外のつる性植物を組み合わせた色鮮やかなカーテンも数多くありましたよ！皆さん自由な発想で、緑のカーテンを楽しんでいただいているようでした。

自慢のカーテンを「是非、見に来てください」と誘ってくださった皆さん、ありがとうございます。来年はふなわりくんと一緒に皆さんのカーテンを拝見させていただきたいと考えております。

よろしく申し上げます。

今度見に行くね！



11. 育てた感想は？

<よかった点>

カーテンについて

- ・西陽の当たるところなので効果は大きい。来年以降も取り組む。
- ・自分で植えたので、かわいい、楽しい。87歳で初めて実がついた。
- ・野菜が高い時季、毎朝とれておいしく食べられてうれしかった。
- ・木漏れ日で、とても心豊かに過ごせた。
- ・花の香りがとてもよかった。
- ・葉の緑と花の黄色がきれいでした。実はスーパーで売っているものより色鮮やかでした。



節電・環境について

- ・涼しくなってよかった。
- ・葉がとても立派に繁って暑さをあまり感じなかった。

コミュニケーション

- ・ゴーヤを近所に配るとコミュニケーションの和（輪）が広がり、絆の大切さを実感している。
- ・自治会が緑のカーテンコンクールに参加したので、ゴーヤを育てる家が多く、町内の親睦に役立った。
- ・通る人が声をかけてくれるようになった。



<苦勞した点・課題>

水やり・肥料について

- ・水やりで水道料金が増加した。
- ・今年は外出が多い日々。ゴーヤのお世話ができずに残念。
- ・これ程肥料がいることを知らなかった。

害虫が

- ・苗の時、ダンゴ虫に茎を食いちぎられた。(キャベツの皮を苗のそばに置いたらキャベツの方がおいしいと見えて、茎は無事だった。)
- ・カナブン・アオムシが葉を食い荒らす人が力で駆除するしかない。(何かよい方法があれば、教えてください。)

その他

- ・種から育てたが、なかなか発芽せず移植が遅くなった。
- ・2階までネットを張るのが大変だった。
- ・おいしい調理法を教えてください。料理のレパートリーが少ない。



<最後になりましたが . . . >

今年は既成の観察記録の他に、オリジナルで作成された観察日記を送ってくださった方がいらっしゃいました。工夫を凝らした楽しい記録をありがとうございました。来年もたくさんのお話を聞かせてください。

みなさんの報告をお待ちしています！